



くみあいニュース

2005 年度号外第 2 号

2005 年 11 月 15 日

島根大学職員組合広報部

内線 2198 ダイヤルイン(0852)32 - 6407

e-mail: union-s@sula0043.soc.shimane-u.ac.jp

<http://sula0043.soc.shimane-u.ac.jp/kumiai/kumiai.html>

速報・第 1 回給与問題学長交渉

公務員給与準拠至上主義

来年 2 月から

！ 基本給与 0.3% 減・扶養手当 500 円減

！！ ボーナス 0.05 ヶ月増は今年度はなし

(理由) 国家公務員のマイナス分に相当するため

島根大学の独自性を放棄

常勤職員 1,237 人 × 平均月給与 41 万円 × 0.3% × 2 ヶ月 = 304 万円

常勤職員 1,237 人 × 500 円 × 2 ヶ月 = 124 万円 (全員扶養手当があるとして)

つまり、大学にはトータル 428 万円の裁量もない。

我々は何のために国立大学法人になったのだろうか？この程度で交渉する我々もどうかと思うけど、全く自らの裁量を示さない学長もどうですか？それすらできない(しない)大学に魅力はありますか？

一方、学長に人勧のプラス勧告があった場合の対応を問うたところ、

「プラス勧告でも準拠する。たとえ何を削ってでも。」

と明言しました。

一見、心強い発言です。でも、運営費交付金を越えたとき、どうやって払うのでしょうか。研究費を削減するのでしょうか。そうなると教員の反発は必至でしょう。今の国の財政を考えると運営費交付金が下げられ

ることにはいえません。その時に人勧準拠は何の保証にもならないのではないのでしょうか。今回の人勧に準拠すると、トヨタ自動車本社に近い愛知教育大学では $12\% - 4.8\% = 7.2\%$ の給与増をする必要が出て、大学当局は思案中とのことです。愛知教育大学の結末は本学の将来を予測する上でも重要と思われる。皆さんも、結末に注目しておいて下さい。

今回は当然ながら合意に到っていません(継続交渉を確認のみ)。

組合はまだ粘り強く交渉を続けます。

我々の給料を守るために、そして我々に次ぐ人々のためにも。

「給与改定等に係る全学説明会」に参加して意見を言おう！

日時：11月18日(金)午後6時～

組合主催 **緊急職員集会**

「給与問題について」

日時：11月18日(金)午後8時ごろから(全学説明会終了後)

今後の大学との交渉において、組合が目指す点について皆さんのご意見をお聞きたいと考えています。それによって、組合は今後の交渉に臨むつもりです。

夜遅い時間帯ですが、組合員・非組合員を問わず参加して、ご意見をお聞かせ下さい。

組合の進路を決めるのは、皆さん一人一人のご意見です。

組合員・非組合員を問わずぜひご参加ください。